

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 丘のりんご		
○保護者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内空間と屋外(ガレージ)を活用した療育活動が通年で可能であり、雨天や降雪時にも屋根付きの屋外空間を活用した事業を実施できる。	・伝承行事やお祭りをはじめとした地域活動への参加や、地域住民との交流を目的とした自主イベント(音楽鑑賞会・ハロウィンパレードなど)を年間計画で実施している。また、利用児童が自主企画した行事を事業所全体で取り組むなど、児童の個性や自主性、協調性などを楽しみながら獲得できるように、一つ一つの事業に目的を持って取り組んでいる。	・利用児童の希望により、室内での活動と屋外での活動をいつでも自由に選択出来るように、職員の配置も含め、臨機応変に対応できるように工夫する。
2	・小学校中学年から中学・高校生まで幅広く受入れが出来る職員体制を敷いていることで、個別療育を基本としながらも、幅広い年齢層の児童と一緒に集団療育を受ける事ができる。多様な支援が可能である。	・上級生が下級生をリードしながら一緒に活動するメニュー(地区商店街のプランター管理・整備作業、街中を徒歩で移動・散策する際の交通安全等の活動、畑での野菜作り活動ほか)を複数用意し、年間通じて実施している。	・環境設定等を工夫しながら、職員の専門性をさらに発揮した個別療育を実施する。 ・集団療育活動では、児童同士による育ち合いが期待出来るような共同でのモノづくり体験やスポーツ活動をメニューとして増やしていく。
3	・地元住民等との交流の機会を年間通じて確保することで、特定の人間関係の中での活動に限定する事無く、地域の多様な人と関わる事の出来る活動を提供する事ができる。	・伝承行事やお祭りをはじめとした地域活動への参加や、地域住民との交流を目的とした自主イベント(音楽鑑賞会・ハロウィンパレードなど)を年間計画で実施している。また、利用児童が自主企画した行事を事業所全体で取り組むなど、児童の個性や自主性、協調性などを楽しみながら獲得できるように、一つ一つの事業に目的を持って取り組んでいる。	・現在実施している行事参加等の活動を、継続的に実施していくことが大事であり、地域の方々との顔の見える関係性の構築を一層目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・物理的に室内空間が狭いこと。	・賃貸物件の為、増改築は基本的に事業者主体では難しい。	・貸主側と協議して、可能であれば室内環境を広くするなど環境整備が必要であると考えている。
2	・職員の専門性を発揮した個別療育を充実していくこと。	・一人一人の個別支援計画の内容に沿った「個別療育」を提供しにくい療育環境であること。特に、室内空間を個別支援用に確保することが難しい点や、職員の配置が、特に個別支援の必要な児童に対して適切に配置しきれていない点などが考えられる。	・静養室や相談室などの物理的に仕切られた空間を一時的に開放して支援するなど、法人全体での協力体制をしっかりと構築していく必要がある。
3	・利用児童及び保護者との面談の機会をしっかりと確保して、一人ひとりに寄り添った支援を行う必要がある。	・日々変化する児童の思いや考えをキャッチした際の、職員間の迅速な情報共有の仕組みづくりが確立していないこと。	・職員が児童や保護者等から寄せられた意見や言葉に対して、小さなことでも必ず情報共有し、必要に応じて利用児と保護者を交えての面談を実施することをルール化するなどの対応を検討する。